

緊急情報

あなたのハウスが危ない!! 新たなウイルス病が!!

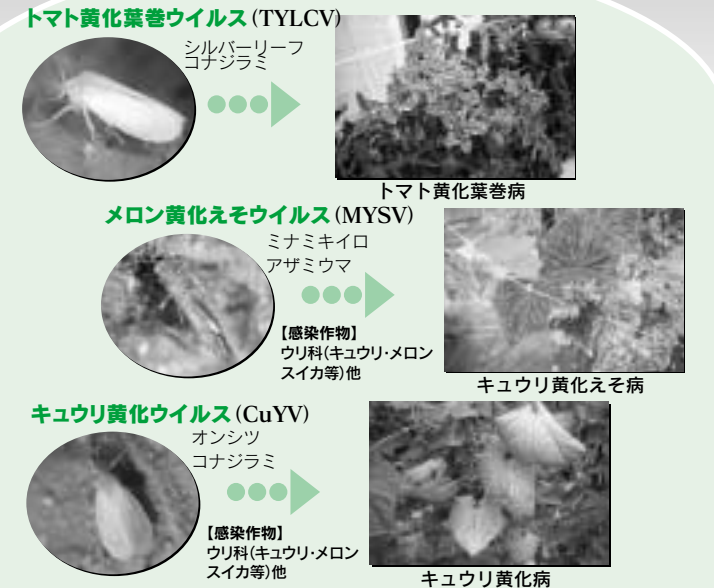
春の緊急病害虫防除推進期間

平成17年3月22日(火)
~6月24日(金)

熊本県では「トマト黄化葉巻病」に続き、新たに「キュウリ黄化えそ病」および「キュウリ黄化病」というウイルス病が発生し、県下の施設園芸作物の安定生産に大きな影響が生じることが心配されます。

そこで、全県下の施設園芸作物全体を対象にした「春の緊急病害虫防除推進期間」を設け、組織的な緊急病害虫防除対策を積極的に推進します。

全施設園芸作物



基本的な防除対策

これからの気温上昇に伴い、ハウス内のコナジラミやアザミウマなどは急激に増加し、栽培終了時の片付けなどにより、野外へ一斉に飛散することが懸念されます。このため、以下の事項を重点的に取り組み、今後のウイルスまん延防止と媒介虫の密度低下を図りましょう。

- 施設栽培終了後は、ハウス密閉処理を1週間以上行い、微小害虫を完全に死滅させてから片付けましょう**
作物残さの片付け時にハウス内の微小害虫をハウス外に出さないために、栽培終了後はハウスを密閉して作物を枯らし、完全に害虫を死滅させてからハウス内を片付けましょう。
- ハウス内および周囲の野良生え作物や雑草は、徹底して除去しましょう**
ハウスから飛び出したウイルス保毒虫がハウス周囲の野良生え作物に寄生するとウイルスが感染し、そこで増殖した害虫はすべてウイルスを保有することになります。雑草は害虫の増殖場所になりますので、随時除去しましょう。また、ハウス内に作物以外の植物を栽培することも避けましょう。
- ウイルスが感染する作物の連続栽培を避け、感染作物のない期間を設けてウイルスの伝染(つながり)を断ち切りましょう**
トマトからトマトへ、ウリ類からウリ類へウイルスが伝染していかないように、作付けがない期間をできるだけ長く設けましょう。
- ハウス内にいるウイルスを媒介するコナジラミやアザミウマなどの微小害虫密度を減らしましょう**
春先から夏にかけて施設内のコナジラミやアザミウマなどの微小害虫が急激に増加し、ハウス外に飛散します。施設栽培農家全体で防除の徹底を盛り上げましょう。

■ 問合せ先 ■ 詳細についてのお問い合わせは、熊本農政事務所や各地域振興局の農業改良普及センターまたは農業振興課、各市町村、農業協同組合、出荷団体などにご連絡ください。

熊本県緊急病害虫防除対策会議 〒862-8570 熊本市水前寺6丁目18番1号
(事務局：農政部経営技術課) TEL096-383-1111(代表)

市議/会/便/り

平成17年第1回市議会定例会が3月8日から23日までの会期で開かれ、専決処分報告1件を承認、平成17年度一般会計暫定予算など34議案(条例9、予算20、その他5)を審議、原案どおり可決されました。また一般質問では9人の議員から質問があり、市長就任後、初の議会に臨んだ阿曾田新市長が所信表明などを述べました。その主な内容についてお知らせします。

条例

【交通安全対策推進委員会条例の制定について】

市の交通安全対策を総合的かつ計画的に推進するため、新たに条例を制定しました。

【総合計画審議会条例の制定について】

地方自治法の規定により条例を制定しました。

【条例の一部を改正する条例の制定について】

不動産登記法の施行による関係法律の整備等に関する法律の施行に伴うものです。

【国民健康保険条例の制定について】

旧5町の国民健康保険条例を暫定施行していたため、新たに市の条例を制定しました。

【都市計画審議会条例の制定について】

都市計画法の規定に基づき、その権限に属された事項を調査審議するための都市計画審議会を設置します。

予算

【平成16年度一般・特別会計予算】

合併に伴い、1月15日から3月31日までの暫定予算(旧町の予算を宇城市に引き継いだ予算)を見直し、宇城市の16年度予算としました。一般会計の予算額は、約94億1千58万円です。

また、「平成16年度国民健康保険特別会計」や「平成16年度老人保健特別会計」など九つの特別会計の予算も同様に

しました。総額は、最も多い「老人保健特別会計」が約28億1千297万円、最も少ない「奨学金特別会計」が約3千371万円です。

【平成17年度一般・特別会計暫定予算】

1月15日に宇城市が発足、また市長選挙も2月27日と、新年度の本格予算を編成することが困難であったため、3カ月間(4月から6月まで)の暫定予算となりました。暫定予算とは、一定期間に必要な行政費や人件費といった最小限の経費だけを、一時的に計上した予算のことです。一般会計の暫定予算額は約54億6千713万円です。

また、「平成17年度国民健康保険特別会計」や「平成17年度老人保健特別会計」など九つの特別会計も、一般会計と同じく暫定予算としています。特別会計の暫定予算額の合計は、約51億9千822万円です。

人事

【教育委員会委員の任命について】

佐田祐一氏(68歳・三角町波多)、今村弘氏(64歳・不知火町高良)、村上親氏(51歳・松橋町浅川)、吉崎潔氏(71歳・小川町北新田)、長田政敏氏(61歳・豊野町糸石)以上5氏が宇城市教育委員に任命されました。任期は、吉崎氏と長田氏が4年、今村氏が3年、佐田氏が2年、村上氏が1年です。

【監査委員の選任について】

園田静雄氏(69歳・松橋町松橋)、末久直氏(63歳・小川町江頭)、高橋節夫議員(73歳・小川町南小川)以上3氏が監査委員に選任されました。任期は、園田・

末久氏が4年、高橋議員が議員の任期中です。

【固定資産評価審査委員会委員の選任について】

小林健二郎氏(61歳・三角町三角浦)、野田勝氏(61歳・不知火町高良)、西山隆夫氏(60歳・松橋町久具)、岩本剛氏(60歳・小川町江頭)、亀山為義氏(69歳・豊野町糸石)以上5氏が固定資産評価審査委員会委員に選任されました。任期は3年です。

【固定資産評価員の選任について】

沖村清(57歳・宇城市市民部長)



所信表明をする阿曾田市長(3月8日)